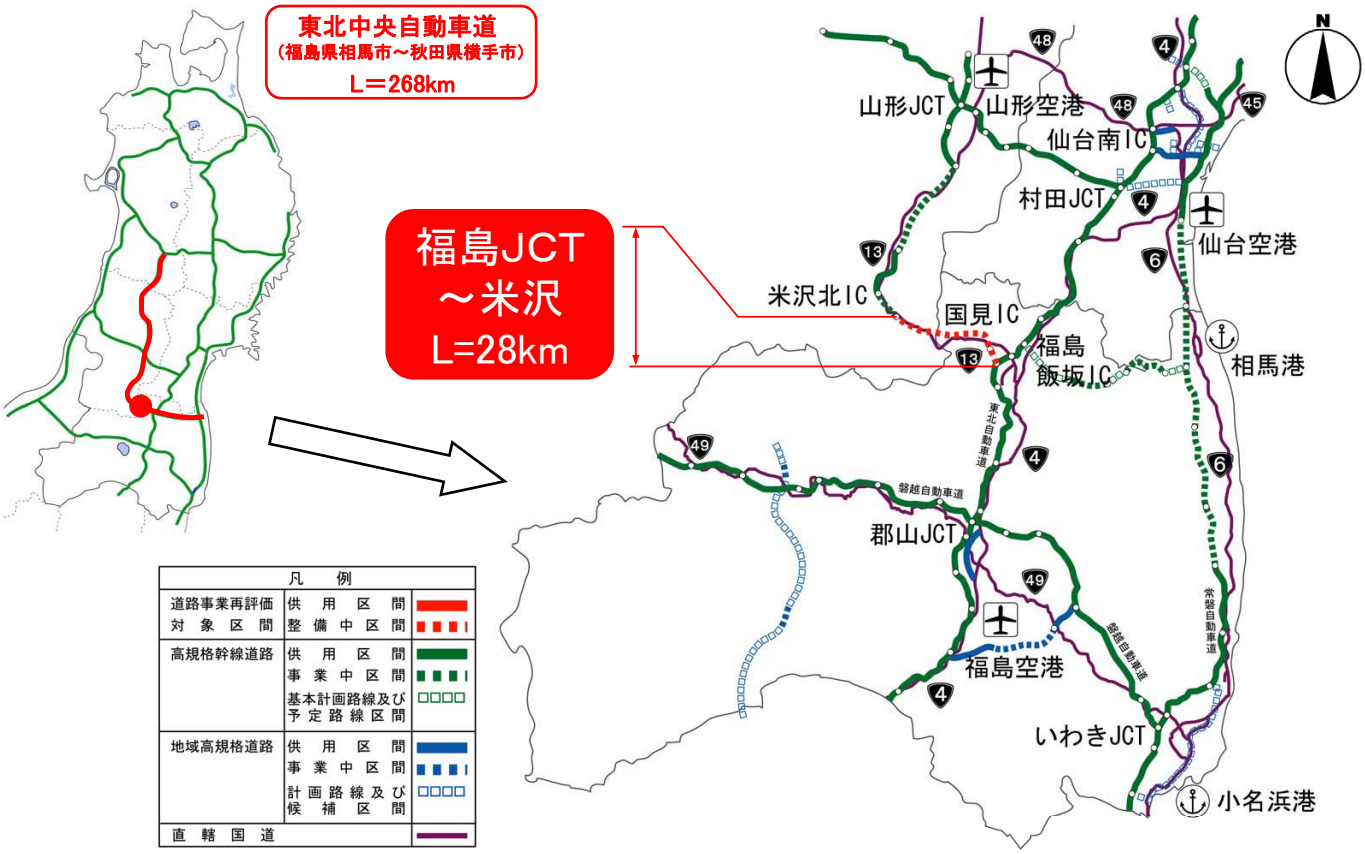
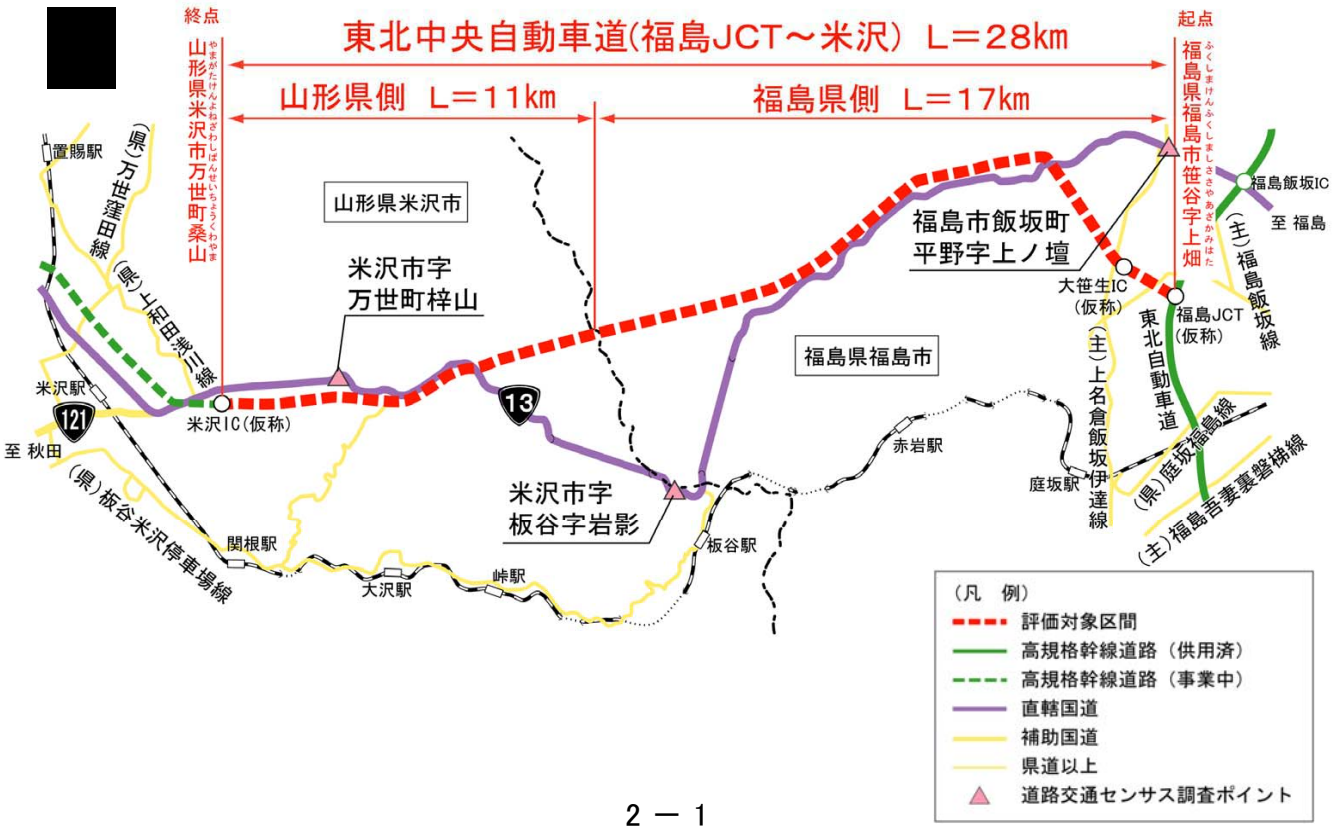
東北中央自動車道　福島JCT～米沢



事　業　の　実　施　状　況



東北中央自動車道　福島(ふくしま)JCT～米沢(よねざわ)

【評価要件：前回再評価後5年経過】

○事業の目的

・福島県と山形県以北の交流・連携の促進

・現道通行止め時の代替路の確保

・経済・産業基盤ネットワークの構築

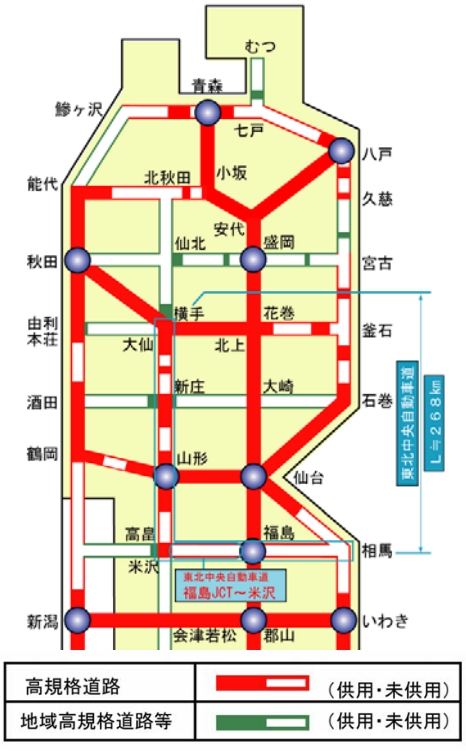
○延　　長　：　L＝28km

○事　業　費　：　1，549億円

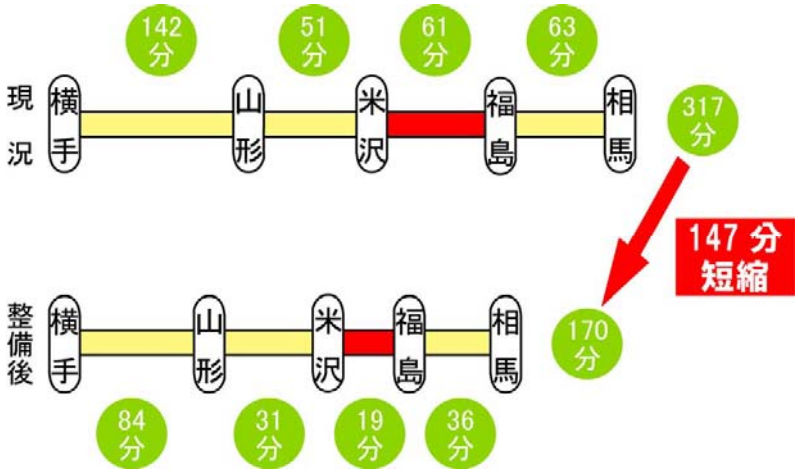
○事　業　化　：　平成10年度

○進　捗　率　：　39%

高規格幹線道路ネットワークの形成



▲格子状骨格道路ネットワーク
（平成20年4月現在）



▲東北中央自動車道の整備による所要時間の変化

資料：道路時刻表'07～'08
※整備後は80～100km/hとして算定

現道（国道13号）通行止め時の代替路の確保



▲国道13号（栗子峠）通行止め時の迂回状況

（注）一般道路および供用済みの高速道路の所要時間は道路時刻表（2007～2008）による

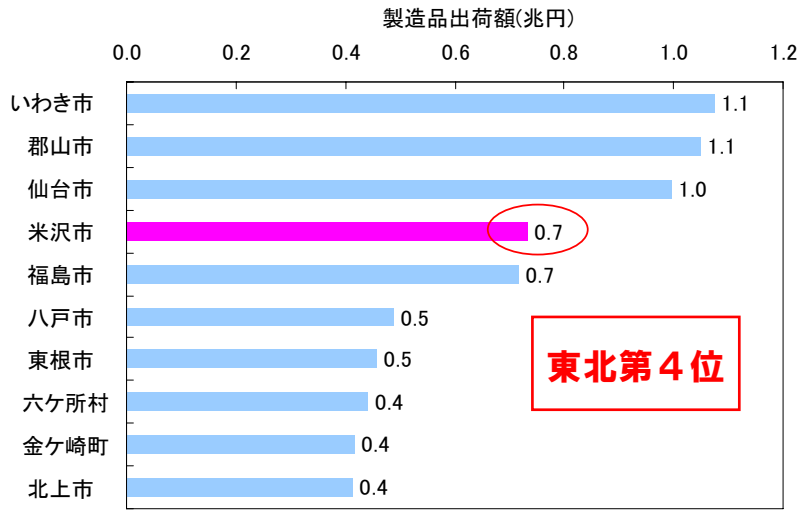
冬期を中心に通行止め多発

年間平均9回/年、冬期平均6回/年



経済・産業基盤ネットワークの構築

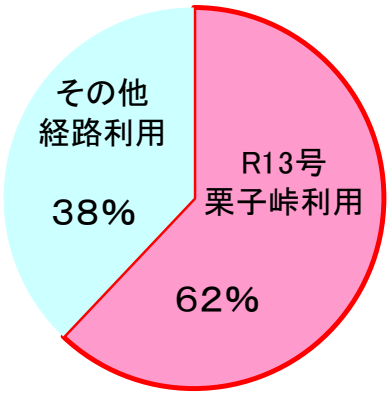
米沢市は東北第４位の製造品出荷額を誇り、市内立地企業の約６割が国道１３号を利用し首都圏方面に出荷。



▲東北における製造品出荷額上位10位

資料：H18工業統計

【米沢市内立地企業の回答】

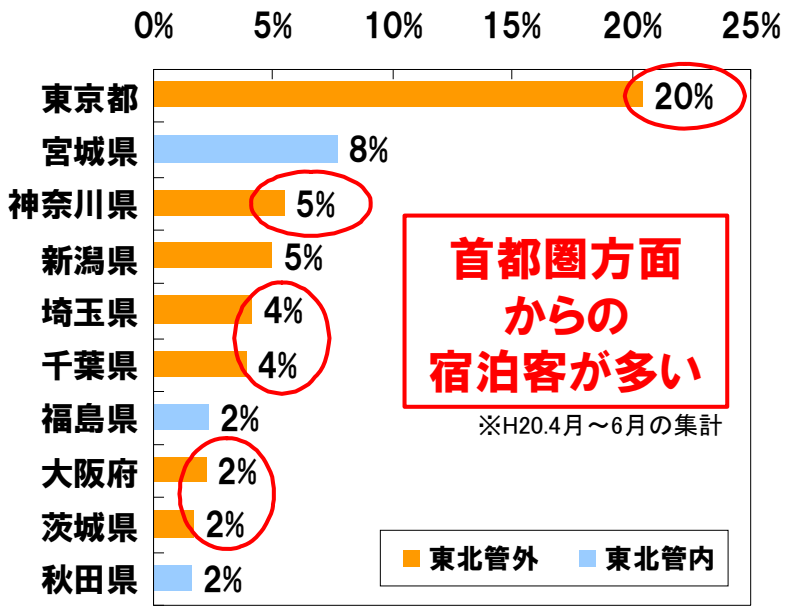


▲主な製品出荷ルート

資料：工業団地立地企業アンケート調査結果
（H20.11月～12月実施）

広域観光圏の拡大

山形県内の観光客入り込みは約４，０００万人で、うち米沢市では近年２４０万人で推移。



▲山形県内へ来訪した県外宿泊客の出発地内訳
（H20.4月～6月の宿泊客数　127,594人）

資料：宿泊旅行統計調査



上杉まつりの様子（H19）



上杉神社

▲米沢市内の観光スポット

資料：上杉まつり実行委員会HP

事　業　の　投　資　効　果

○費用便益比（B／C）
※下表の数値は、基準年（平成20年）における現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

費用C（現在価値）	795億円
便益B（現在価値）	1，819億円
費用便益比　B／C	2．3

計画交通量（平成42年度）
・福島JCT～米沢＝14，400台/日　・現道＝5，300台/日

（参考）

費用便益比（B／C）

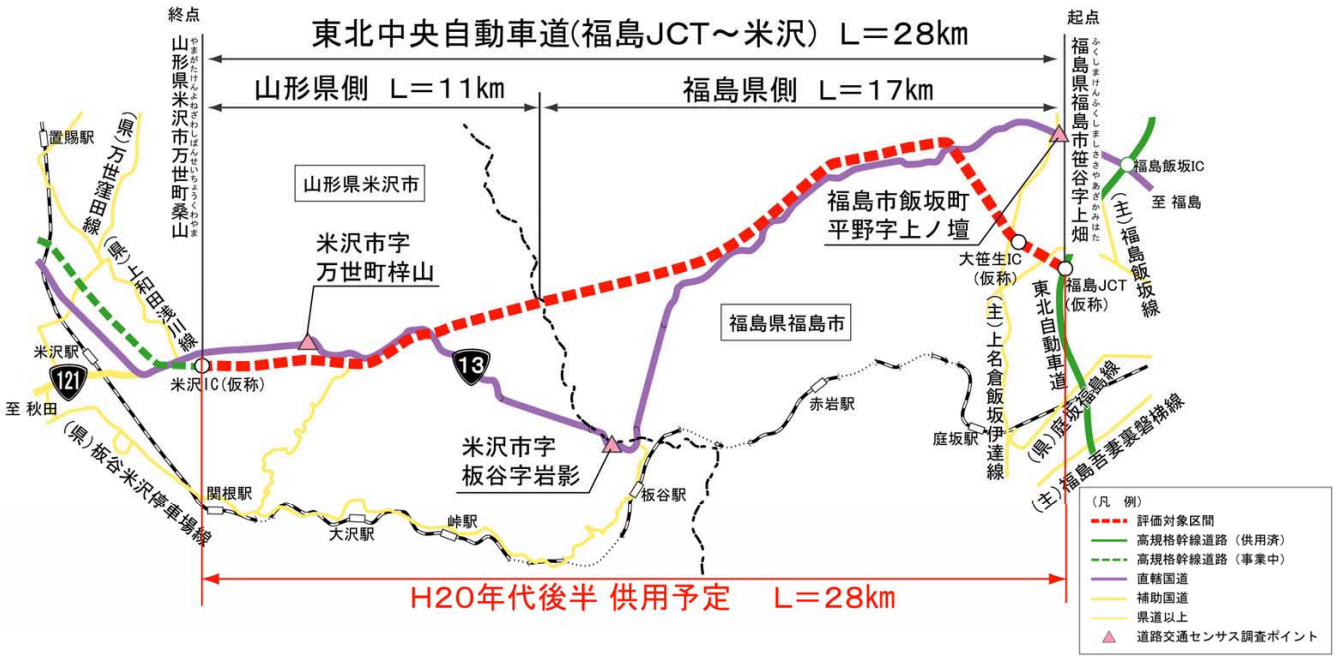
【道路公団民営化検討時のＢ／Ｃ】
【残事業】２．３　【全　線】２．２

【今回再評価時のＢ／Ｃ】
【残事業】２．３　【全　線】１．３

（道路公団民営化検討時の計画交通量）
福島JCT～米沢＝６，５００～１１，６００台／日
（今回再評価時の計画交通量）
福島JCT～米沢＝１４，４００台／日
現道　＝　５，３００台／日

供用予定等今後の事業の見通し

・福島JCT～米沢間（L＝28km）については、平成20年代後半の全線2車線供用を目標に事業推進を図る。



対 応 方 針 （ 原 案 ）

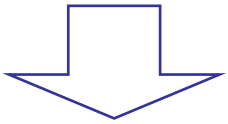
○早期整備の必要性が高い。

・福島県と山形県以北の交流・連携の促進

・現道通行止め時の代替路の確保

・経済・産業基盤ネットワークの構築

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。



事業を継続実施